

H. P. Report

第13号

発行責任者 三菱電機株式会社 北陸支社 官公システム課 稲崎義明

インターネット常時接続（1）

常時接続というインターネットを利用する上でできれば欲しい利用形態でした。これまでは、テレホーダイのように夜の11時から朝の8時までのように時間制限のある定額サービスでした。そのため、夜の11時を越えると急にホームページサーバへのアクセスが増えるためかスピードが遅くなったものです（他に昼の12時を過ぎるとスピードダウンしますが、これは会社のパソコンから昼休みにインターネットアクセスするためです）。そのあとでサービスが始まったのが、i・プラン1200と3000のサービスです。これはテレホーダイがISDN回線に加えてアナログ回線でも使えるのに対してISDN回線だけですが、特定電話番号に対する通話料金がi・プラン1200の場合で月額1200円で3000円まで、i・プラン3000の場合で月額3000円で7500円までの通話が可能となるものです。もちろん、月額料金は決まっていますので、1000円ぐらいの通話しかしていなくても月額料金が減るわけではなく、3000円や7500円の金額を超えた場合はもちろん普通に料金がかかります。よく使う人にとっては多少の料金低減になるものです（実際私の場合、インターネットをよく使うのが3人もいるものですからi・プラン3000に入っちはいるのですが、インターネット接続時間が1ヶ月100時間を超え、1度電話料金が2万を軽く超えたことがあります）。

それに対してフレッツ・ISDNですが、これは24時間常時接続を行うことができ、利用料金は4500円で利用することができます。利用できるのはもちろんISDN回線で、NTTが各県に準備した地域IP網と呼ばれるネットワークを利用します。申し込みを行うことによってNTTは通信専用の電話番号を一人一人に割り当てます。ISDNで利用できる2回線のうち1回線を通信専用で地域IP網に接続し、通常の電話やFAXは残り1回線を利用することになります。そのため2回線を利用した128kbpsの通信は行うことができません。また、利用するプロバイダが地域IP網に接続されている必要もあります。つまり、プロバイダ側が対応していなければ利用することができません。次に申し込みですが、通常利用しようとした場合、NTTとプロバイダへの両方の申し込みが必要ですが、プロバイダによってはNTTへの申し込みの代行を行ったり、NTTへ申し込むことによって利用可能となるなどいろいろあります。申し込みが完了し、NTT内の工事が完了すると利用する電話番号が交付されてきます。この番号にTAやルータの接続先番号を変更するのですが、この場合、TAやルータもフレッツ・ISDNに対応している必要があります。機器によってはファームウェアのバージョンアップが必要ですが、古いものであれば買い替えが必要になるかもしれません。また、常時接続用に交付された電話番号は契約したISDN回線からのみ有効で、それ以外からインターネットに接続する場合は通常のアクセスポイントにすることになります。この場合、契約によっては別料金が必要になるプロバイダもあります。

インターネットの常時接続は確かに魅力です。現在、フレッツ・ISDNは大都市近郊と各県庁所在地が10月間までにサービスが始まっていて、その他の主要都市は今年度中にサービスが始まる予定になっています。北陸については、金沢市から始まり現在富山市、福井市でサービスが始まっています（市外局番が同じでもサービスは市町村単位のようなのですが、今年12月、来年3月までに段階的にサービスが全市に広がります。

(次回へ続く)

(情報誌トピックス)

○日経エレクトロニクス 11月6日号

特集 製造部門はいらない

→米国ではエレクトロニクスメーカーの中で自社生産に見切りをつけ製造拠点を売却するメーカーが増えている。日本でも出てきているが、製造は製造専門のEMSと呼ばれる企業が受け持つ。機器メーカーから独立することによって製造メーカーは利益を上げる。いつまでも自社製品を作る時代は終わりつつある。

解説 ストレージをIPネットに直結 Ethernet高速化が追い風に

→これまでストレージといえばサーバを経由したものであったが、ネットワークが高速化することによってネットワーク直結のストレージが登場し、SSP(ストレージサービスプロバイダ)というストレージのレンタルを行うサービスが始まっている。バックアップを行う場合もネットワーク上のストレージで行う。

○日経パソコン 11月13日号

特集 パソコン購入サイトを徹底比較する

→インターネット上でパソコンが購入できるが、メーカー直販、販売店オンラインなどいろいろある。各サイトを比較、利用方法などを注意点もいろいろある。

特集 インターネット電話入門

→インターネット上に接続されたパソコン同士なら利用できるインターネット電話。アメリカでは普通の電話にかけれるものや普通の電話から利用できるものまでいろいろある。その具体例を紹介。

○日経オープンシステム 11月号

特集 21世紀の開発スタイル

→Webを使ったネットワークシステム。端末はこれまでのパソコンだけでなく、携帯電話、PDA、ゲーム機など多岐にわたっている。それぞれの端末が増えるたびにに対応する対症療法では再開発が必要となる。変動部分をカートリッジ化するなどの解決事例。

技術 アプリケーション開発環境としてのLinuxの実力

→Linuxが企業システムにおけるサーバとして注目されてきている。既に主要なデータベースはサポートを完了し、アプリケーション稼働環境の対応も進み、UNIX、Windows NTと肩を並べてきている。

○日経ネットビジネス 12月号

特集 中抜きに対抗する「ミドルマン」

→中抜きとは流通の中間業者である商社や問屋などの「ミドルマン」を不要にしようとする考え。ミドルマンはこれに対し、自らのネットワークを構築し、物流、決済、与信などのサービスを提供し、あらゆる分野での反撃が始まり生き残りを模索している。しかし、これからはそれぞれの垣根が崩れ、より質の高いサービスが提供できる企業だけが生き残る。

○DOS/V magazine 12月1日号

特集 最新・最強マザーボード購入学

→パソコンよりは製品寿命の長いマザーボード。それでもいろいろなものが発表されている。マザーボードテクノロジーから最新動向、トラブルシューティング、各ボードの紹介まで。

特集 遊ぶデジカメミラクル撮影術

→7000円からある低価格デジカメ。そのデジカメの部品を利用してリモート装置や飛行機に乗せての撮影事例紹介。

特集 i-driveではじめるオンラインストレージ

→オンラインストレージサービスとは、インターネットを利用してプロバイダでデータをたくわえる。いつでもどこでもインターネットに接続できれば必要なデータを活用することができる。i-drive.comを中心に利用の仕方を紹介。